

平成21年5月28日(木) 開催

生活環境保健福祉委員会会議順序

開議時刻 午前10時30分
会議室 生活環境保健福祉委員会室

○ 開 会

1 付 託 事 件

2 協議又は報告事項

- (1) 平成21年6月定例会主要事項について (保健福祉部・生活環境部)
- (2) 新型インフルエンザ対策について (保健福祉部)
- (3) 犯罪のない安全・安心まちづくりの推進について (生活環境部)
- (4) その他

○ 次回委員会

平成21年6月10日(水) 午前10時30分 開催

○ 閉 会

生活環境保健福祉委員会資料（Ⅰ）

○ 平成21年6月定例会主要事項について

- 1 岡山県津山陸上競技場条例の一部を改正する条例 …………… P. 1
- 2 平成20年度繰越明許費繰越計算書 …………… P. 7

平成21年5月28日

生活環境部

岡山県津山陸上競技場条例の一部を改正する条例案要綱

担当課 生活環境部スポーツ振興課

項 目	記 載 欄
案の内容	<p>1 球技用器具の利用料金の基準額を定める。</p> <p style="margin-left: 2em;">(1) アマチュアスポーツ 1台1日につき 500円</p> <p style="margin-left: 2em;">(2) アマチュアスポーツ以外のもの 1台1日につき 2,500円</p> <p>2 その他規定の整備を行う。</p>
改正理由	<p>岡山県津山陸上競技場の球技用器具の設置に伴い、その利用料金の基準額を定める等所要の改正を行う必要がある。</p>
案と予算 措置との 関係	なし
備 考	

岡山県津山陸上競技場条例の一部を改正する条例

岡山県津山陸上競技場条例（平成六年岡山県条例第十四号）の一部を次のように改正する。

別表の一の表の備考中二を四とし、一を三とし、同表の備考に一及び二として次のように加える。

- 一 金額を一時間又は二時間について定めている場合において、利用時間が一時間若しくは二時間未満であるとき、又は利用時間に一時間若しくは二時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を一時間又は二時間として計算する。
- 二 準備又は取り片づけのための時間は、利用時間に含める。

別表の二の表の備考を次のように改める。

備考

- 一 金額を一時間について定めている場合において、利用時間が一時間未満であるとき、又は利用時間に一時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を一時間として計算する。
- 二 準備又は取り片づけのための時間は、利用時間に含める。
- 三 採暖室及び更衣室の使用を含む。

別表の三の表に備考として次のように加える。

備考 利用時間若しくは利用期間が単位未満であるとき、又は利用時間若しくは利用期間に単位未満の端数があるときは、その単位未満の時間又は期間を一単位として計算する。

別表の四の表中

	走り幅跳び・三段跳び距離測定器	一個一日につき	八〇円
--	-----------------	---------	-----

を

	走り幅跳び・三段跳び距離測定器	一個一日につき	八〇円
球技用器具	サッカー用ベンチ	アマチュアスポーツ	一台一日につき 五〇〇円
		アマチュアスポーツ以外のもの	一台一日につき 二、五〇〇円

	得点板	アマチュア スポーツ	一台一日につき	五〇〇円
		アマチュア スポーツ以 外のもの	一台一日につき	二、五〇〇円

に改め、同表に備考として次のように加える。

備考

- 一 利用時間若しくは利用期間が単位未満であるとき、又は利用時間若しくは利用期間に単位未満の端数があるときは、その単位未満の時間又は期間を一単位として計算する。
- 二 球技用器具に係る一日についての利用料金の合計は、アマチュアスポーツにあつては二、〇〇〇円、アマチュアスポーツ以外のものにあつては一〇、〇〇〇円を限度として徴収する。

別表の五の表に備考として次のように加える。

備考 利用時間が一時間未満であるとき、又は利用時間に一時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を一時間として計算する。

別表の六の表に備考として次のように加える。

備考 利用期間が一日未満であるときは、その利用期間を一日として計算する。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

改正理由

岡山県津山陸上競技場の球技用器具の設置に伴い、その利用料金の基準額を定める等所要の改正を行う必要がある。

略

備考

一 利用時間若しくは利用期間が単位未満であるとき、又は利用時間若しくは利用期間に単位未満の端数があるときは、その単位未満の時間又は期間を一単位として計算する。

二 球技術器具に係る一日についての利用料金の合計は、アマチュアスポーツにあつては二、〇〇〇円、アマチュアスポーツ以外のものにあつては一〇、〇〇〇円を限度として徴収する。

五 冷暖房設備（一時間につき）

略

備考 利用時間が一時間未満であるとき、又は利用時間に一時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を一時間として計算する。

六 その他

略

備考 利用期間が一日未満であるときは、その利用期間を一日として計算する。

五 冷暖房設備（一時間につき）

略

六 その他

略

備考 利用時間若しくは利用期間が単位未満であるとき、又は利用時間若しくは利用期間に単位未満の端数があるときは、その単位未満の時間又は期間を単位として計算する。

四 器具及び設備

区	分	単	位	基	準	額	練習用器具			球技術器具								
							略	略	略	略	略	略	略	略	略			
							走り幅跳び・三段跳び	サッカー用ベンチ	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ
							一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき	一個一日につき
							八〇円	五〇〇円	五〇〇円	五〇〇円	五〇〇円	五〇〇円	五〇〇円	五〇〇円	五〇〇円	五〇〇円	五〇〇円	五〇〇円

四 器具及び設備

区	分	単	位	基	準	額	練習用器具		
							略	略	略
							走り幅跳び・三段跳び	一個一日につき	八〇円

岡山県津山陸上競技場条例新旧対照表

	新	旧
<p>別表（第十条関係）</p> <p>一 主競技場及び多目的広場</p> <p>略</p>	<p>別表（第十条関係）</p> <p>一 主競技場及び多目的広場</p> <p>略</p>	
<p>備考</p> <p>一 金額を一時間又は二時間について定めている場合において、利用時間が一時間若しくは二時間未満であるとき、又は利用時間に一時間若しくは二時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を一時間又は二時間として計算する。</p> <p>二 準備又は取り片づけのための時間は、利用時間に含める。</p> <p>三・四略</p> <p>二 スケート場</p> <p>略</p>	<p>備考</p> <p>一・二略</p> <p>二 スケート場</p> <p>略</p>	
<p>備考</p> <p>一 金額を一時間について定めている場合において、利用時間が一時間未満であるとき、又は利用時間に一時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を一時間として計算する。</p> <p>二 準備又は取り片づけのための時間は、利用時間に含める。</p> <p>三 採暖室及び更衣室の使用を含む。</p> <p>三 トレーニング室等</p> <p>略</p>	<p>備考</p> <p>スケート場の専用使用又は個人使用は、採暖室及びスケート場の更衣室の使用を含む。</p> <p>三 トレーニング室等</p> <p>略</p>	

平成20年度繰越明許費繰越計算書

(単位：千円)

款	項	事業名	金額	翌年度 繰越額	左の財源内訳			
					既収入 特定財源	未収入特定財源		一般財源
						国庫支出金	県債	
02 総務費	08 県民生活費	鉄道施設ユニバーサルデザイン化整備事業	30,574	30,574				30,574
		緊急経済・雇用対策事業	520,415	520,415	520,415			
合計			550,989	550,989		520,415		30,574

生活環境保健福祉委員会資料（Ⅱ）

○ 平成21年6月定例会主要事項について

- ・ 地方自治法第221条第3項の法人の経営状況を説明する書類
 - ・ 財団法人岡山県郷土文化財団 P. 1
 - ・ 岡山県スポーツ振興財団..... P. 19
 - ・ 財団法人岡山県環境保全事業団 P. 22

平成21年5月28日

生活環境部

平成20年度 財団法人岡山県郷土文化財団事業実績書

1 一般会計

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
①普及啓発事業	自然や文化財の保護思想を普及するため、会報、財団ニュースの発行を行うとともに、県下各地での現地研修会や共催事業などを開催した。	9,006,105
②自然・文化財保護事業	自然保護と環境や景観の美化を図るため、桜の苗木を市町村などに配布するとともに、「備中漆」の復活や郷土出身偉人の顕彰に取り組んだ。	545,240
③地域文化振興事業	伝統に根ざした新たな地域文化の創造を図るため、郷土文化講座、展覧会、クラシックコンサートの開催をはじめ、「岡山の自然と文化 NO.28」の出版配布、古典芸能の普及、「郷原漆器」の復活指導などを行った。	7,586,561
④受託事業	岡山県から受託した 第十回 岡山・吉備の国「内田百閒文学賞」の業務（募集準備）を行った。	1,290,875
⑤その他の事業 (管理費を含む)	財団設立の目的に沿った事業を効率的に円滑に進めるために、事務局機能を高め、効率的な運営を図った。	31,246,047
合 計		49,674,828

2 特別会計

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
①受託事業（岡山後樂園）	岡山県から受託した岡山後樂園の管理を行った。	251,275,013
②受託事業（自然保護センター）	自然保護センターの指定管理者である(財)岡山県環境保全事業団から受託したタンチョウの飼育等業務並びに岡山県から受託したタンチョウ野外行動調査業務を行った。	66,592,709
③管理運営事業（犬養木堂記念館）	岡山県から指定管理者として指定を受けた犬養木堂記念館及び木堂生家の管理運営を行った。	32,844,405
④管理運営事業（岡崎嘉平太記念館）	岡山県から指定管理者として指定を受けた岡崎嘉平太記念館の管理運営を行った。	26,487,094
合 計		377,199,221

平成20年度 財団法人岡山県郷土文化財団貸借対照表及び正味財産増減計算書

貸借対照表(一般会計)

(第30期)平成21年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	278,538	241,418	37,120
普通預金	76,147,626	78,950,602	△ 2,802,976
振替貯金	5,080,886	1,262,276	3,818,610
定期預金	0	0	0
有価証券	233,280,024	233,509,660	△ 229,636
未収収益	1,569,000	1,569,000	0
未収金	1,887,860	1,033,137	854,723
中退共	1,956,000	1,488,000	468,000
立替金	10,278	12,322	△ 2,044
流動資産合計	320,210,212	318,066,415	2,143,797
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	855,125,928	854,895,931	229,997
定期預金	0	0	0
基本財産合計	855,125,928	854,895,931	229,997
(2) その他固定資産			
美術品(郷土画家秀作)	13,148,000	13,148,000	0
文化財	48,953,150	48,874,400	78,750
その他固定資産合計	62,101,150	62,022,400	78,750
固定資産合計	917,227,078	916,918,331	308,747
資産合計	1,237,437,290	1,234,984,746	2,452,544
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,548,277	5,861,285	△ 3,313,008
預り金	2,010	0	2,010
仮受金	0	511,833	△ 511,833
流動負債合計	2,550,287	6,373,118	△ 3,822,831
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,037,119	10,367,179	△ 1,330,060
固定負債合計	9,037,119	10,367,179	△ 1,330,060
負債合計	11,587,406	16,740,297	△ 5,152,891
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	1,225,849,884	1,218,244,449	7,605,435
(うち基本財産への充当額)	(855,125,928)	(854,895,931)	(△229,997)
正味財産合計	1,225,849,884	1,218,244,449	7,605,435
負債及び正味財産合計	1,237,437,290	1,234,984,746	2,452,544

正味財産増減計算書（一般会計）

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	3,994,000	4,798,100	△ 804,100
受取会費	3,994,000	4,798,100	△ 804,100
基本財産運用益	22,147,791	21,844,257	303,534
基本財産運用益	22,147,791	21,844,257	303,534
受取寄附金	369,997	1,635,170	△ 1,265,173
受取基本財産寄附金	229,997	1,110,170	△ 880,173
受取運用財産寄附金	140,000	525,000	△ 385,000
受取交付金等	11,264,331	12,001,814	△ 737,483
受取岡山県交付金	11,264,331	11,201,814	62,517
受取助成金	0	800,000	△ 800,000
受託収益	1,290,875	10,830,000	△ 9,539,125
内田百間文学賞受託収益	1,290,875	10,830,000	△ 9,539,125
受取利息	12,552,902	12,444,430	108,472
受取利息	12,552,902	12,444,430	108,472
印刷物頒布収益	937,157	1,526,473	△ 589,316
印刷物等頒布収益	937,157	1,526,473	△ 589,316
催事収益	3,104,790	3,325,223	△ 220,433
催事収益	3,104,790	3,325,223	△ 220,433
雑収益	70,087	104,908	△ 34,821
雑収益	70,087	104,908	△ 34,821
公租公課還付金	1,239,586	291,181	948,405
公租公課還付金	1,239,586	291,181	948,405
経常収益計	56,971,516	68,801,556	△ 11,830,040

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
管 理 費	30,945,050	28,377,406	2,567,644
会 議 費	157,675	104,159	53,516
職 員 費	22,078,233	20,296,671	1,781,562
共 済 費	2,905,028	2,978,454	△ 73,426
賃 金	800,260	0	800,260
事 務 局 費	4,904,989	4,898,122	6,867
雑 費	98,865	100,000	△ 1,135
普及啓発事業費	9,006,105	9,200,241	△ 194,136
会 報 費	3,860,636	3,897,752	△ 37,116
財団ニュース発行費	341,250	486,150	△ 144,900
現 地 研 修 費	1,286,774	1,282,832	3,942
広 報 費	3,236,968	3,359,627	△ 122,659
共 催 事 業 費	150,000	150,000	0
調 査 研 究 費	94,528	0	94,528
「文化財団の歩み」編集費	35,949	23,880	12,069
自然・文化財保護事業費	545,240	1,779,878	△ 1,234,638
自然・文化財保護事業費	347,790	1,225,043	△ 877,253
郷土の偉人顕彰事業費	197,450	554,835	△ 357,385
地域文化振興事業費	7,586,561	9,304,839	△ 1,718,278
郷土文化講座開催費	193,843	102,342	91,501
展覧会開催費	981,553	990,137	△ 8,584
講 演 会 等 費	401,560	1,068,262	△ 666,702
印 刷 製 本 費	540,150	2,218,190	△ 1,678,040
岡山の自然・文化印刷製本費	2,246,620	2,066,080	180,540
伝統芸能振興普及事業費	3,120,660	2,767,638	353,022
郷原漆器・備中漆復活事業費	102,175	92,190	9,985
受託事業費	1,290,875	10,830,000	△ 9,539,125
内田百閒文学賞受託事業費	1,290,875	10,830,000	△ 9,539,125
公租公課	71,000	71,000	0
公租公課	71,000	71,000	0
経常費用計	49,444,831	59,563,364	△ 10,118,533
当期経常増減額	7,526,685	9,238,192	△ 1,711,507

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
文化財受入額	78,750	600,000	△ 521,250
経常外収益計	78,750	600,000	△ 521,250
当期経常外増減額	78,750	600,000	△ 521,250
当期一般正味財産増減額	7,605,435	9,838,192	△ 2,232,757
一般正味財産期首残高	1,218,244,449	1,208,406,257	9,838,192
一般正味財産期末残高	1,225,849,884	1,218,244,449	7,605,435
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
一般指定財産期首残高	0	0	0
一般指定財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,225,849,884	1,218,244,449	7,605,435

貸借対照表（後楽園特別会計）

（第30期）平成21年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	1,625,356	1,434,341	191,015
普通預金	73,086,016	47,668,495	25,417,521
有価証券	337,396	335,783	1,613
未収金	1,421,986	1,021,680	400,306
中退共	4,296,000	3,084,000	1,212,000
立替金	69,939	67,056	2,883
流動資産合計	80,836,693	53,611,355	27,225,338
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
器具備品	141,344	188,454	△ 47,110
その他固定資産合計	141,344	188,454	△ 47,110
固定資産合計	141,344	188,454	△ 47,110
資産合計	80,978,037	53,799,809	27,178,228
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	60,764,595	33,277,460	27,487,135
預り金	413,678	24,829	388,849
仮受金	0	0	0
流動負債合計	61,178,273	33,302,289	27,875,984
2. 固定負債			
退職給付引当金	19,170,377	19,636,528	△ 466,151
固定負債合計	19,170,377	19,636,528	△ 466,151
負債合計	80,348,650	52,938,817	27,409,833
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	629,387	860,992	△ 231,605
正味財産合計	629,387	860,992	△ 231,605
負債及び正味財産合計	80,978,037	53,799,809	27,178,228

正味財産増減計算書（後楽園特別会計）

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託収益	244,290,000	224,876,500	19,413,500
受託収益	244,290,000	224,876,500	19,413,500
受取利息	1,658	1,800	△ 142
受取利息	1,658	1,800	△ 142
DC収益	0	2,761,350	△ 2,761,350
DC収益	0	2,061,350	△ 2,061,350
DC受取助成金	0	700,000	△ 700,000
催事収益	4,907,980	1,750,860	3,157,120
催事収益	4,907,980	1,750,860	3,157,120
お庭そだち運営収益	71,050	10,826	60,224
お庭そだち運営収益	71,050	10,826	60,224
古陶館運営収益	1,819,830	2,048,144	△ 228,314
古陶館運営収益	1,819,830	2,048,144	△ 228,314
経常収益計	251,090,518	231,449,480	19,641,038

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
(2) 経常費用			
管理費	244,337,110	224,936,387	19,400,723
管理費	244,290,000	224,876,500	19,413,500
減価償却費	47,110	59,887	△ 12,777
DC費	0	2,761,350	△ 2,761,350
DC費	0	2,761,350	△ 2,761,350
催事費	5,090,367	1,509,925	3,580,442
催事費	5,090,367	1,509,925	3,580,442
お庭そだち運営費	79,988	0	79,988
お庭そだち運営費	79,988	0	79,988
古陶館管理運営費	1,814,658	2,248,493	△ 433,835
古陶館管理運営費	1,814,658	2,248,493	△ 433,835
経常費用計	251,322,123	231,456,155	19,865,968
当期経常増減額	△ 231,605	△ 6,675	△ 224,930
当期一般正味財産増減額	△ 231,605	△ 6,675	△ 224,930
一般正味財産期首残高	860,992	867,667	△ 6,675
一般正味財産期末残高	629,387	860,992	△ 231,605
II 正味財産期末残高	629,387	860,992	△ 231,605

貸 借 対 照 表 (自然保護センター特別会計)

(第18期) 平成21年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	299,244	228,008	71,236
普通預金	28,372,466	27,888,679	483,787
未収金	1,159,647	2,460,781	△ 1,301,134
中退共	4,392,000	2,784,000	1,608,000
立替金	13,832	14,288	△ 456
流動資産合計	34,237,189	33,375,756	861,433
資産合計	34,237,189	33,375,756	861,433
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,033,127	6,797,544	△ 2,764,417
預り金	1,845	12,860	△ 11,015
流動負債合計	4,034,972	6,810,404	△ 2,775,432
2. 固定負債			
退職給付引当金	30,202,217	26,565,352	3,636,865
固定負債合計	30,202,217	26,565,352	3,636,865
負債合計	34,237,189	33,375,756	861,433
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	0	0	0
正味財産合計	0	0	0
負債及び正味財産合計	34,237,189	33,375,756	861,433

正味財産増減計算書（自然保護センター特別会計）

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託収益	34,833,712	33,646,848	1,186,864
受託収益	31,670,100	31,757,888	△ 87,788
タンチョウ野外行動調査事業収益	2,902,000	1,888,960	1,013,040
タンチョウ韓国現地指導収益	261,612	0	261,612
出向職員人件費収益	31,758,997	32,590,758	△ 831,761
出向職員人件費収益	31,758,997	32,590,758	△ 831,761
経常収益計	66,592,709	66,237,606	355,103
(2) 経常費用			
管理費	34,833,712	33,646,848	1,186,864
管理費	31,670,100	31,757,888	△ 87,788
タンチョウ野外行動調査事業費	2,902,000	1,888,960	1,013,040
タンチョウ韓国現地指導費	261,612	0	261,612
出向職員人件費	31,758,997	32,590,758	△ 831,761
出向職員人件費	31,758,997	32,590,758	△ 831,761
経常費用計	66,592,709	66,237,606	355,103
当期経常増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産期末残高	0	0	0

貸借対照表 (犬養木堂記念館特別会計)

(第16期) 平成21年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	196,185	342,674	△ 146,489
普通預金	7,385,998	8,866,775	△ 1,480,777
有価証券	591,068	588,241	2,827
未収金	11,369	3,802	7,567
中退共	1,320,000	960,000	360,000
立替金	8,258	9,446	△ 1,188
流動資産合計	9,512,878	10,770,938	△ 1,258,060
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
器具備品	12,082	16,108	△ 4,026
その他固定資産合計	12,082	16,108	△ 4,026
固定資産合計	12,082	16,108	△ 4,026
資産合計	9,524,960	10,787,046	△ 1,262,086
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,023,831	2,723,035	△ 699,204
預り金	0	0	0
流動負債合計	2,023,831	2,723,035	△ 699,204
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,461,439	8,023,122	△ 561,683
固定負債合計	7,461,439	8,023,122	△ 561,683
負債合計	9,485,270	10,746,157	△ 1,260,887
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	39,690	40,889	△ 1,199
正味財産合計	39,690	40,889	△ 1,199
負債及び正味財産合計	9,524,960	10,787,046	△ 1,262,086

正味財産増減計算書（犬養木堂記念館特別会計）

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
管理運営収益	32,844,405	32,844,405	0
管理運営収益	32,844,405	32,844,405	0
受取利息	2,827	3,032	△ 205
受取利息	2,827	3,032	△ 205
経常収益計	32,847,232	32,847,437	△ 205
(2) 経常費用			
管理費	32,848,431	32,848,431	0
管理費	32,844,405	32,844,405	0
減価償却費	4,026	4,026	0
経常費用計	32,848,431	32,848,431	0
当期経常増減額	△ 1,199	△ 994	△ 205
当期一般正味財産増減額	△ 1,199	△ 994	△ 205
一般正味財産期首残高	40,889	41,883	△ 994
一般正味財産期末残高	39,690	40,889	△ 1,199
II 正味財産期末残高	39,690	40,889	△ 1,199

貸借対照表（岡崎嘉平太記念館特別会計）

（第8期）平成21年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	198,302	180,955	17,347
普通預金	5,277,916	4,015,857	1,262,059
未収金	7,768	0	7,768
中退共	768,000	552,000	216,000
立替金	2,221	2,215	6
流動資産合計	6,254,207	4,751,027	1,503,180
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
器具備品	34,660	44,028	△ 9,368
その他固定資産合計	34,660	44,028	△ 9,368
固定資産合計	34,660	44,028	△ 9,368
資産合計	6,288,867	4,795,055	1,493,812
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,465,399	3,256,286	1,209,113
預り金	247	0	247
流動負債合計	4,465,646	3,256,286	1,209,360
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,788,300	1,494,480	293,820
固定負債合計	1,788,300	1,494,480	293,820
負債合計	6,253,946	4,750,766	1,503,180
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	34,921	44,289	△ 9,368
正味財産合計	34,921	44,289	△ 9,368
負債及び正味財産合計	6,288,867	4,795,055	1,493,812

正味財産増減計算書（岡崎嘉平太記念館特別会計）

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
管理運営収益	26,287,094	26,287,210	△ 116
管理運営収益	26,287,094	26,287,210	△ 116
受取助成金	200,000	0	200,000
受取助成金	200,000	0	200,000
受取利息	0	0	0
受取利息	0	0	0
経常収益計	26,487,094	26,287,210	199,884
(2) 経常費用			
管理費	26,296,462	26,298,567	△ 2,105
管理費	26,287,094	26,287,210	△ 116
減価償却費	9,368	11,357	△ 1,989
絵本作成費	200,000	0	200,000
絵本作成費	200,000	0	200,000
経常費用計	26,496,462	26,298,567	197,895
当期経常増減額	△ 9,368	△ 11,357	1,989
当期一般正味財産増減額	△ 9,368	△ 11,357	1,989
一般正味財産期首残高	44,289	55,646	△ 11,357
一般正味財産期末残高	34,921	44,289	△ 9,368
II 正味財産期末残高	34,921	44,289	△ 9,368

平成21年度 財団法人岡山県郷土文化財団事業計画書

1 一般会計

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
①普及啓発事業	郷土の自然や文化財に対する県民の理解と認識を深めるとともに、保護思想の普及を図るため、次の事業を行う。 (1) 会報「きび野」の発行 (2) 財団ニュース「お知らせ」の発行 (3) 現地研修会の開催 (4) 県及び市町村等との共催により、各種文化事業を実施 (5) 自然・文化財に関する資料収集及び調査研究 (6) 「文化財団の歩み」の編纂	9,330
②自然・文化財保護事業	県、市町村、民間団体と連携して、次の事業を実施する。 (1) 自然景観の美化を図るため、梅、桜、桃等の苗木を配布 (2) 備中漆の復活 (3) 池田光政公「中原御涼所」跡の「甘棠碑」の保存整備 (4) 内田百閒資料の収集と整理保存 (5) 郷土出身偉人の顕彰 (6) 郷土資料の整理・保存 (7) 植物関係図書・文献の整理公開	3,150
③地域文化振興事業	伝統に根ざした新たな地域文化の創造を目指して、次の事業を実施する (1) 郷土の自然や文化に関する「郷土文化講座」の開催 (2) 展覧会の開催 (3) 郷土文化講座の講演集等の印刷配布 (4) 伝統芸能の普及振興 (5) 伝統的工芸品の復活生産指導と普及 (6) 内田百閒資料の展示	7,400
④その他の事業 (管理費を含む)	上記の他、本財団の組織充実と体制整備のための事業並びに管理運営を行う。	29,271
合 計		49,151

2 特別会計

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
①受託事業(岡山後樂園)	岡山県から委託を受けて、岡山後樂園の管理を行う。	228,548
②受託事業(自然保護センター)	岡山県及び(財)岡山県環境保全事業団から委託を受けて、自然保護センターのタンチョウの飼育などを行う。	64,008
③指定管理事業 (犬養木堂記念館)	岡山県と締結した協定書により、犬養木堂記念館及び木堂生家の管理運営を行う。	29,589
④指定管理事業 (岡崎嘉平太記念館)	岡山県と締結した協定書により、岡崎嘉平太記念館の管理運営を行う。	23,660
合 計		345,805

平成21年度 財団法人岡山県郷土文化財団収支予算書

1 一般会計

(単位：千円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額			科 目	予 算 額		
	21年度	20年度	増△減		21年度	20年度	増△減
資本的支出	350	350		資本的収入	350	350	
基本財産繰出金支出	350	350		出 捐 金	100	100	
収益的支出	48,801	52,926	△ 4,125	基本財産寄附金	250	250	
管理費	28,850	28,850		収益的収入	48,810	52,965	△ 4,155
普及啓発事業費	9,330	9,700	△ 370	会 費 収 入	5,500	6,000	△ 500
自然・文化財保護事業費	3,150	2,650	500	基本財産運用収入	18,000	18,000	
地域文化振興事業費	7,400	7,500	△ 100	運用財産寄附金	300	300	
受託事業費		4,155	△ 4,155	交 付 金	9,500	9,000	500
公租公課	71	71		受 託 収 入		4,155	△ 4,155
次期繰越収支差額	307,251	301,365	5,886	預 金 利 息	11,000	11,000	
				印刷物頒布収入	1,500	1,500	
				催 事 収 入	3,000	3,000	
				雑 収 入	10	10	
				公租公課還付金			
				前期繰越収支差額	307,242	301,326	5,916
合 計	356,402	354,641	1,761	合 計	356,402	354,641	1,761

2 岡山後楽園特別会計

(単位：千円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額			科 目	予 算 額		
	21年度	20年度	増△減		21年度	20年度	増△減
収益的支出	228,548	240,125	△ 11,577	収益的収入	228,075	239,453	△ 11,378
管 理 費	223,348	234,925	△ 11,577	受 託 収 入	222,874	234,252	△ 11,378
管 理 費	223,348	234,925	△ 11,577	受 託 管 理 費	222,874	234,252	△ 11,378
催 事 費	3,500	3,500		預 金 利 息	1	1	
催 事 費	3,500	3,500		預 金 利 息	1	1	
お庭そだち運営費	200	200		催 事 収 入	3,500	3,500	
古陶館運営費	1,500	1,500		催 事 収 入	3,500	3,500	
次期繰越収支差額				古陶館運営収入	1,500	1,500	
				お庭そだち運営収入	200	200	
				前期繰越収支差額	473	672	△ 199
合 計	228,548	240,125	△ 11,577	合 計	228,548	240,125	△ 11,577

3 自然保護センター特別会計							
(単位：千円)							
支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額			科 目	予 算 額		
	21年度	20年度	増△減		21年度	20年度	増△減
収益的支出	64,008	69,179	△ 5,171	収益的収入	64,008	69,179	△ 5,171
管理費	30,203	35,073	△ 4,870	受託収入	30,202	35,072	△ 4,870
管理費	28,684	31,671	△ 2,987	受託管理費	28,683	31,670	△ 2,987
タンチョウ調査費	1,519	3,402	△ 1,883	タンチョウ調査費	1,519	3,402	△ 1,883
出向職員人件費	33,805	34,106	△ 301	預金利息	1	1	
次期繰越収支差額				預金利息	1	1	
				出向職員人件費	33,805	34,106	△ 301
				前期繰越収支差額			
合 計	64,008	69,179	△ 5,171	合 計	64,008	69,179	△ 5,171

4 犬養木堂記念館特別会計							
(単位：千円)							
支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額			科 目	予 算 額		
	21年度	20年度	増△減		21年度	20年度	増△減
収益的支出	29,589	32,871	△ 3,282	収益的収入	29,561	32,846	△ 3,285
管理運営費	29,589	32,871	△ 3,282	管理運営費収入	29,560	32,845	△ 3,285
管理運営費	29,589	32,871	△ 3,282	管理運営費	29,560	32,845	△ 3,285
次期繰越収支差額				預金利息	1	1	
				預金利息	1	1	
				前期繰越収支差額	28	25	3
合 計	29,589	32,871	△ 3,282	合 計	29,589	32,871	△ 3,282

5 岡崎嘉平太記念館特別会計							
(単位：千円)							
支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額			科 目	予 算 額		
	21年度	20年度	増△減		21年度	20年度	増△減
収益的支出	23,660	26,289	△ 2,629	収益的収入	23,659	26,288	△ 2,629
管理運営費	23,660	26,289	△ 2,629	管理運営費収入	23,659	26,288	△ 2,629
管理運営費	23,660	26,289	△ 2,629	管理運営費	23,659	26,288	△ 2,629
次期繰越収支差額				預金利息			
				預金利息			
				前期繰越収支差額	1	1	
合 計	23,660	26,289	△ 2,629	合 計	23,660	26,289	△ 2,629

経営状況等の概況（県外郭団体）

団体の基本情報 (H21.4.1現在)					
名称	財団法人岡山県郷土文化財団		事務所の所在地	岡山市北区石関町2-1	
代表者	理事長 石井正弘		設立年月日	昭和54年10月26日	
基本財産	855,126千円	うち県出資金	490,100千円	県出資比率	57.3%
役員	13人	職員	31人	決算時期	3月
設立目的	岡山県下に所在する優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与することを目的とする。				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○普及啓発事業 ○自然・文化財保護事業 ○地域文化振興事業 ○受託事業 <ul style="list-style-type: none"> ・岡山後樂園の管理 ・自然保護センターのタンチョウの飼育など ・犬養木堂記念館及び岡崎嘉平太記念館の管理運営 				

経営実績と財産の状況 (単位：千円)							
	H16	H17	H18	H19	H20	H21(予算)	
当期収入 A	491,139	5,140,922	521,647	425,623	433,989	394,463	
うち県支出金 B	452,581	5,089,075	457,921	307,929	319,140	287,112	
県支出金の割合 (B/A)	92.1%	99.0%	87.8%	72.3%	73.5%	72.8%	
当期支出 C	495,949	5,138,555	509,309	417,439	426,874	394,956	
当期収支差額 (A-C)	△ 4,810	2,367	12,338	8,184	7,115	△ 493	
総資産 D	5,716,061	1,527,863	1,351,662	1,337,743	1,368,466	/	
主なもの	現金預金	127,338	371,449	179,313	171,080		197,949
	投資有価証券	1,119,519	1,076,313	1,075,824	1,089,330		1,089,334
	備品	4,412,777	13,148	13,148	13,148		13,148
総負債 E	4,535,571	344,047	142,291	118,552	141,912		
正味財産 F=D-E	1,180,490	1,183,816	1,209,371	1,219,191	1,226,554		
うち基本金 G	839,794	840,109	853,786	854,896	855,126		
内部留保 (F-G)	340,696	343,707	355,585	364,295	371,428		
経営実績と財産の状況についての評価	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、県などから各種事業の委託を受け、安定した経営が行われている。 ・金利の低下等による収支不足も、改善する傾向にある。 ・保有する資産も、現金預金1.9億円、国債等の有価証券が10.8億円(基本財産に8.5億円、その他2.3億円)あり、財務状況は健全であると考えられる。 						

役員職員の状況							
		H16	H17	H18	H19	H20	H21
役員	総数	15	14	15	15	15	13
	常勤	1	1	1	1	1	
		うち県派遣職員					
	非常勤	14	13	14	14	14	13
		うち県職員	1	1	2	2	2
職員	総数	31	30	32	32	32	31
	常勤	30	30	31	31	31	30
		うち県派遣職員					
	非常勤	1		1	1	1	1

岡山県からの支出の状況 (単位：千円)							
	H16	H17	H18	H19	H20	H21(予算)	
県支出金	452,581	5,089,075	457,921	307,929	319,140	287,112	
内訳	委託料	444,698	460,140	447,787	296,727	307,876	277,612
	補助金・交付金	7,633	9,565	10,134	11,202	11,264	9,500
	貸付金						
	出捐金	250					
	美術品取得		4,619,370				
その他	長期貸付金(年度末残高)	4,400,656					/
	損失補償限度額						
	損失補償契約に係る債務残高						
	債務保証限度額						
	債務保証契約に係る債務残高						

平成20年度 岡山県スポーツ振興財団事業実績書

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
1 スポーツ活動の機会・内容の充実	1 広域スポーツ交流大会の開催支援事業 2 ニュースポーツ普及・振興事業 (ニュースポーツ用具整備等) 3 スポーツイベント支援事業	2,366,242
2 指導者の養成と資質の向上	1 岡山県スポーツアドバイザー派遣事業 2 ニュースポーツセミナー開催支援事業	510,000
3 選手育成・強化の助成	1 国体予選会への助成事業	1,000,000
4 情報・相談機能の充実	1 スポーツ相談室開設支援事業 2 スポーツ情報提供支援事業 3 スポーツ情報提供推進事業	476,740
5 団体の育成助成	1 ニュースポーツ団体育成支援事業 2 総合型地域スポーツクラブ支援事業 3 総合型地域スポーツクラブ設立特別支援事業 4 団体組織強化助成事業 5 競技スポーツ普及促進サポート事業	4,913,305
6 補助事業	1 第21回全国スポーツ・レクリエーション祭 参加者派遣事業(滋賀県 17種目 170人) 2 体力づくり推進事業	4,362,676
合	計	13,628,963

平成20年度 岡山県スポーツ振興財団貸借対照表及び収支計算書

1 貸借対照表

平成21年3月31日現在 (単位:円)

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	8,763,793	流動負債	287,272
現金預金	8,590,791	未払金	287,272
普通預金	8,590,791	正味財産	1,009,489,280
その他の流動資産	173,002	うち基本財産へ充当	1,000,000,000
未収金	173,002		
固定資産	1,001,012,759		
基本財産	1,000,000,000		
定期預金	465,000		
有価証券	999,535,000		
その他の固定資産	1,012,759		
什器備品	1,009,496		
定期預金	3,263		
合 計	1,009,776,552	合 計	1,009,776,552

2 収支計算書

自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日 (単位:円)

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
管理費	2,928,023	基本財産運用収入	12,500,000
給与手当	2,167,275	基本財産運用収入	12,500,000
福利厚生費	270,850	事業収入	4,340,934
会議費	86,509	補助金収入	4,340,934
旅費・交通費	28,055	雑収入	16,550
需用費	37,402	受取利息	16,550
役員費	132,539		
公租公課	142,000	前期繰越収支差額	8,177,845
雑費	63,393		
事業費	13,628,963		
スポーツ活動等の充実	2,366,242		
指導者の養成等	510,000		
選手育成・強化助成	1,000,000		
相談情報機能充実	476,740		
団体の育成助成	4,913,305		
補助事業	4,362,676		
定期預金繰入金支出	1,822		
次期繰越収支差額	8,476,521		
合 計	25,035,329	合 計	25,035,329

経営状況等の概況（県外郭団体）

団体の基本情報（H21.4.1現在）					
名称	岡山県スポーツ振興財団		事務所の所在地	岡山市北区内山下2-4-6	
代表者	理事長 石井正弘		設立年月日	平成元年12月22日	
基本財産	1,000,000千円	うち県出資金	500,000千円	県出資比率	50.0%
役員	12人	職員	7人	決算時期	3月
設立目的	県民にスポーツについての理解と関心を深め、積極的にスポーツに取り組む意欲を高揚させ、生涯スポーツの振興と競技スポーツの向上を図る				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ活動の機会・内容充実のための事業 ○指導者の養成確保と資質向上のための事業 ○選手育成・強化の助成 ○情報・相談機能の充実のための事業 ○団体の育成助成等 				

経営実績と財産の状況（単位：千円）							
	H16	H17	H18	H19	H20	H21(予算)	
当期収入 A	50,925	39,786	36,509	32,616	25,035	-	
うち県支出金 B	28,459	16,756	13,169	7,202	4,341	-	
県支出金の割合 (B/A)	55.9%	42.1%	36.1%	22.1%	17.3%	-	
当期支出 C	40,395	28,954	23,622	24,438	16,558	-	
当期収支差額 (A-C)	10,530	10,832	12,887	8,178	8,477	-	
総資産 D	1,020,110	1,020,522	1,023,803	1,017,750	1,009,777	/	
主なもの	現金預金	11,340	11,042	13,717	8,781		8,591
	投資有価証券	999,535	999,535	999,535	999,535		999,535
	定期預金	465	465	465	465		465
	備品	8,770	9,480	10,086	8,807		1,009
総負債 E	810	210	830	763	287		
正味財産 F=D-E	1,019,300	1,020,312	1,022,973	1,016,987	1,009,490		
うち基本金 G	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000		
内部留保 (F-G)	19,300	20,312	22,973	16,987	9,490		
経営実績と財産の状況についての評価	基本財産の運用益や県の支出金等により、安定した経営が行われている。						

役員職員の状況								
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	
役員	総数	13	13	13	13	12	-	
	常勤	うち県派遣職員						
		非常勤	13	13	13	13	12	
	うち県職員	3	3	3	3	3		
職員	総数	8	8	7	7	7	-	
	常勤	うち県派遣職員						
		非常勤	3	3	1	1	1	
	うち県職員	5	5	6	6	6		

岡山県からの支出の状況（単位：千円）						
	H16	H17	H18	H19	H20	H21(予算)
県支出金	28,459	16,756	13,169	7,202	4,341	-
内訳	委託料	23,994	9,314	9,314		
	補助金	4,465	7,442	3,855	7,202	4,341
	短期貸付金					
その他	長期貸付金（年度末残高）					
	損失補償限度額					
	損失補償契約に係る債務残高					
	債務保証限度額					
	債務保証契約に係る債務残高					

平成 20 年度 財団法人岡山県環境保全事業団事業実績書

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
1. 環境保全サービス事業	環境意識の高揚を図り、快適な地域社会の実現に貢献することを目的とした事業を実施 ア. 情報誌の発行 イ. 環境保全事業に対する支援 ウ. 環境学習の実施 エ. エコツアーの開催 オ. 環境セミナーの開催 カ. 環境学習センターの運営	82,465,964
2. 温暖化防止活動事業	岡山県地球温暖化防止活動推進センターとして、国、県からの委託事業の実施も含め、広く地球温暖化防止対策の普及啓発を図るとともに、岡山県地球温暖化防止活動推進員が取り組む地球温暖化防止活動の支援を実施 ア. 普及啓発(環境イベントの実施) イ. 普及啓発(キャンペーンの実施) ウ. 岡山県地球温暖化防止活動推進員の研修・支援 エ. アースキーパーメンバーシップ制度の推進 オ. 京都議定書発効記念セミナーの開催 カ. 国や県からの事業委託	39,562,855
3. 循環資源情報提供事業	岡山県循環資源総合情報支援センターとして、県からの委託事業の実施を含め、企業間における循環資源に関する情報を提供するとともに、廃棄物等の有効利用及び適正な処分に資する情報を広く事業者及び県民に提供 ア. 企業間における循環資源に関する情報交換の促進 イ. 廃棄物等の発生抑制、循環資源の有効活用及び適正処分に資する情報の提供 ウ. 循環型社会形成に向けた意識向上のための情報の提供 エ. 環境団体及び環境イベントに関する情報の提供	13,833,099
4. 廃棄物処理処分事業	(1) 産業廃棄物埋立処分事業 (262,930 t) (2) 産業廃棄物中間処理事業 (66,300 t) (3) 公共関与臨海部新処分場建設事業は、予定どおり完了 (4) 廃棄物(循環資源)コンサルタント事業を実施	8,042,853,988
5. 環境調査事業	(1) 計量証明事業 水質、土壌、産業廃棄物、環境大気などの環境試料についての測定・分析を実施 (2) 環境アセスメント事業 開発計画に伴う環境アセスメントや動植物等の自然環境調査、その他水質、大気などに係る各種調査を実施 (3) 環境大気測定局保守管理事業 岡山県、岡山市、玉野市、備前市、笠岡市及び瀬戸内市が設置する環境大気測定局保守管理事業を実施	463,556,164
6. 環境緑化事業	(1) 設計事業 公共施設等の緑地設計業務を実施 (2) 維持管理事業 公共施設等の緑地設計、施工、監督業務を実施	6,804,000
7. 公共施設等管理運営事業	(1) 建設残土処理事業(搬入 153,490 m ³) (2) 資源化物選別施設管理運営事業 (3) 自然保護センター管理運営事業	314,660,393
合 計		8,963,736,463

平成20年度 財団法人岡山県環境保全事業団貸借対照表及び損益決算書

1. 貸借対照表

平成21年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	4,823,682,191	流 動 負 債	1,112,631,098
現金・預金	3,301,362,124	未払金	259,598,119
売掛金	619,485,711	未払費用	434,808,451
有価証券	300,000,000	預り金	55,751,528
貯蔵品	23,804,642	未払法人税等	362,473,000
前払費用	53,963,226		
未収入金	823,928		
仮払金	35,823		
未収消費税	524,206,737		
固 定 資 産	14,400,152,713	固 定 負 債	8,934,026,412
有形固定資産	13,523,069,279	長期借入金	8,381,000,000
コース勘定	343,640,000	退職給与引当金	553,026,412
建築物	1,398,821,478		
構築物	9,747,352,899		
機械装置	1,038,493,491		
車両運搬具	3,670,811		
船舶	14,210,000		
工具器具備品	96,258,245		
少額資産	2,074,246		
土地	354,571,005		
建設仮勘定	523,977,104	特 定 引 当 金	800,000,000
		災害防止準備金	800,000,000
無形固定資産	39,173,434		
電話加入権	1,400,100	負 債 計	10,846,657,510
ソフトウェア	37,773,334	正 味 財 産	8,377,177,394
投資等	37,910,000	基金	1,626,500,000
長期貸付金	20,000,000	基本財産	500,000,000
その他投資等	17,910,000	運用財産	1,126,500,000
特定預金	800,000,000	建設準備積立金	2,500,000,000
災害防止引当特定預金	800,000,000	当期末処分余剰金	4,250,677,394
		(内当期剰余金)	(672,664,806)
		正味財産計	8,377,177,394
合 計	19,223,834,904	合 計	19,223,834,904

注記；有形固定資産減価償却累計額 7,702,867,071

2. 損益計算書

自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額
事業損益	
事業収入	35,879,469
公益事業	3,574,528,469
廃棄物処理処分事業	463,556,164
環境調査事業	321,464,393
その他の事業	4,395,428,495
計	
事業費用	135,861,918
公益事業	1,859,759,302
廃棄物処理処分事業	436,971,892
環境調査事業	278,641,076
その他の事業	2,711,234,188
計	
事業利益	△99,982,449
公益事業	1,714,769,167
廃棄物処理処分事業	26,584,272
環境調査事業	42,823,317
その他の事業	1,684,194,307
計	
一般管理費	562,906,401
事業損益計	1,121,287,906
事業外損益	
事業外収益	10,977,115
受取利息等	251,000,000
収益事業より寄付金	29,330,340
雑収入	291,307,455
計	
事業外費用	81,054,726
支払利息	251,000,000
公益事業へ寄付金	41,728,136
固定資産廃棄損	3,674,693
雑損失	377,457,555
計	
事業外損益計	△86,150,100
経常損益	1,035,137,806
特別損益	
特別利益	0
特別損失	0
特別損益計	0
税引前当期損益	1,035,137,806
法人税等	362,473,000
税引後当期損益	672,664,806
前期繰越剰余金	3,578,012,588
当期末処分剰余金	4,250,677,394

平成 21 年度 財団法人岡山県環境保全事業団事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
1. 環境保全サービス事業	<p>環境意識の高揚を図り、快適な地域社会の実現に貢献することを目的とした事業を行う。</p> <p>ア. 環境学習センターの運営 イ. 環境学習の実施 ウ. エコツアーの開催 エ. 環境セミナーの開催 オ. 協働による環境学習推進事業 カ. 環境保全事業に対する支援 キ. 情報誌「環境」の発行</p>	84,860
2. 地球温暖化防止活動事業	<p>岡山県地球温暖化防止活動推進センターとして、国、県からの委託事業の実施も含め、広く地球温暖化防止対策の普及啓発を図るとともに、岡山県地球温暖化防止活動推進員が取り組む地球温暖化防止活動の支援を行う。</p> <p>ア. 普及啓発 イ. 岡山県地球温暖化防止活動推進員の研修・支援 ウ. アースキーパーメンバースHIP制度の推進 エ. 新エネ・省エネセミナー事業 オ. 一村一品・知恵の環づくり事業 カ. 太陽光発電補助事業</p>	44,900
3. 循環資源情報提供事業	<p>岡山県循環資源総合情報支援センターとして、県からの委託事業の実施を含め、企業間における循環資源に関する情報を提供するとともに、廃棄物等の有効利用及び適正な処分に資する情報を広く事業者及び県民に提供する。</p> <p>ア. 循環資源情報提供システムの運営及び管理 イ. 循環資源マッチングシステムの運用 ウ. リサイクル情報システムの運用</p>	13,810
4. 廃棄物処理処分事業	<p>(1) 産業廃棄物埋立処分事業 (245,000 t)</p> <p>(2) 産業廃棄物中間処理事業 (70,000 t)</p> <p>(3) 廃棄物(循環資源)コンサルタント事業</p>	4,039,790
5. 環境調査事業	<p>(1) 計量証明事業 水質、土壌、底質、産業廃棄物、環境大気及び排出ガスなどの分析測定を実施する。</p> <p>(2) 環境アセスメント事業 環境アセスメント事後調査である環境管理業務や生活環境、自然環境に関する各種調査業務等の拡大を図る。</p>	377,850
6. 環境緑化事業	<p>県内の公園・学校等公共施設を中心とした、樹木管理及び設計業務を受託し、環境緑化事業の推進を図る。</p>	4,250
7. 公共施設等管理運営事業	<p>(1) 建設残土処理事業 (99,400 m³)</p> <p>(2) 資源化物選別施設管理運営事業</p> <p>(3) 自然保護センター管理運営事業</p>	272,300
合 計		4,837,760

平成21年度 財団法人岡山県環境保全事業団収支計画

損 益 収 支					
(単位 : 千円)					
項 目		本 年 度	前 年 度	比 較	
事業 損 益	事業 収入	公 益 部 門	43,020	34,800	8,220
		収 益 部 門	4,694,190	4,391,970	302,220
		小 計	4,737,210	4,426,770	310,440
	事業 費用	公 益 部 門	143,570	112,850	30,720
		収 益 部 門	3,889,180	2,675,460	1,213,720
		小 計	4,032,750	2,788,310	1,244,440
	事業 利益	公 益 部 門	△100,550	△78,050	△22,500
		収 益 部 門	805,010	1,716,510	△911,500
		小 計	704,460	1,638,460	△934,000
		一 般 管 理 費	253,610	331,890	△78,280
		計	450,850	1,306,570	△855,720
	事業 外 損 益	事業 外 収入	受 取 利 息 等	8,910	6,300
収益部門より寄付金			27,000	235,000	△208,000
雑 収 入			24,630	18,740	5,890
		小 計	60,540	260,040	△199,500
事業 外 費用		支 払 利 息 等	188,810	114,640	74,170
		公益部門へ寄付金	27,000	235,000	△208,000
	雑 損 失	2,380	0	2,380	
	小 計	218,190	349,640	△131,450	
	計	△157,650	△89,600	△68,050	
	経 常 損 益	293,200	1,216,970	△923,770	
特別 損 益	特 別 利 益	361,500	0	361,500	
	特 別 損 失	△492,500	0	△492,500	
	計	△131,000	0	△131,000	
	当 期 損 益	162,200	1,216,970	△1,054,770	

経営状況等の概況（県外郭団体）

団体の基本情報（H21.4.1現在）					
名称	財団法人岡山県環境保全事業団		事務所の所在地	岡山市南区内尾665番地の1	
代表者	理事長 関谷洋輔		設立年月日	昭和49年9月28日	
基本金	1,626,500千円	うち県出資金	100,000千円	県出資比率	6.1%
役員	28人	職員	116人	決算時期	3月
設立目的	岡山県の区域において、公害防止事業、環境緑化事業、その他生活環境の保全及び創造に関する事業を行うことにより、県民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。				
主な事業	1 廃棄物の処理処分事業 2 環境緑化事業 3 土地利用改善事業 4 環境保全コンサルタント事業 5 環境保全サービス事業 6 地球温暖化対策事業 7 循環型社会形成事業 8 公共施設等の管理運営事業 9 特定労働者派遣事業 10 その他事業団の目的を達成するために必要な事業				

経営実績と財産の状況（単位：千円）							
	H16	H17	H18	H19	H20	H21(予算)	
当期収入 A	4,297,564	4,479,440	4,304,923	4,606,419	4,395,428	4,737,210	
うち県支出金 B	1,166,876	1,248,040	1,288,070	1,352,448	1,372,964	1,562,831	
県支出金の割合 (B/A)	27.2%	27.9%	29.9%	29.4%	31.2%	33.0%	
当期支出 C	2,886,302	2,922,715	2,927,353	2,880,963	3,274,141	4,286,360	
当期収支差額 (A-C)	1,411,262	1,556,725	1,377,570	1,725,456	1,121,279	450,850	
総資産 D	8,485,389	9,056,309	11,333,882	14,777,877	19,223,835		
主なもの	現金預金	2,874,753	3,438,418	2,299,908	3,476,471		3,301,362
	有価証券	110,000	300,000	300,000	300,000		300,000
	建物	1,555,134	1,465,394	1,387,409	1,312,171		1,398,821
	売掛金	745,089	727,973	692,997	602,201		619,486
総負債 E	3,944,017	3,501,375	4,821,047	7,073,364	10,846,658		
正味財産 F=D-E	4,541,372	5,554,934	6,512,835	7,704,513	8,377,177		
うち基本金 G	1,626,500	1,626,500	1,626,500	1,626,500	1,626,500		
内部留保 (F-G)	2,914,872	3,928,434	4,886,335	6,078,013	6,750,677		
経営実績と財産の状況についての評価	公益事業の積極的展開とともに、収益事業の計画的展開を図っており、順調な運営を行っている。また、各事業を通じて一層の合理化・効率化を進めている。 預金や有価証券等の資産を相当に保有するほか、将来の事業に備えた積立を行うなど、財務状況は健全であると評価できる。						

役員職員の状況								
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	
役員	総数	28	28	28	28	28	28	
	常勤		1	1	1	2	2	2
		うち県派遣職員						
	非常勤		27	27	27	26	26	26
うち県職員		1	1	1	1	1	1	
職員	総数	112	113	116	121	118	116	
	常勤		110	111	111	120	118	116
		うち県派遣職員	3	3	3	3	3	1
	非常勤	2	2	5	1	0	0	

岡山県からの支出の状況（単位：千円）							
	H16	H17	H18	H19	H20	H21(予算)	
県支出金	1,166,876	1,248,040	1,288,070	1,352,448	1,372,964	1,562,831	
内訳	委託料	1,164,956	1,244,580	1,285,570	1,349,648	1,365,312	1,470,772
	補助金	1,920	3,460	2,500	2,800	7,652	92,059
	短期貸付金						
その他	長期貸付金(年度末残高)						
	損失補償限度額			11,000,000	11,000,000	11,000,000	
	損失補償契約に係る債務残高			1,800,000	1,800,000	8,000,000	
	債務保証限度額						
	債務保証契約に係る債務残高						

生活環境保健福祉委員会資料（Ⅲ）

- 犯罪のない安全・安心まちづくりの推進について P. 1

平成21年5月28日

生活環境部

犯罪のない安全・安心まちづくりの推進について

県内各地で広がりつつあるボランティア等による児童の見守りや地域パトロールなどの活動を支援するとともに、安全・安心まちづくりに向けた効果的な啓発を推進するため、次のような事業に取り組むものである。

第1 犯罪のない安全・安心まちづくり支援自動販売機紹介事業

1 事業目的

安全・安心まちづくりに貢献している青色防犯パトロール実施団体の活動支援

2 事業内容

(1) 事業主体

飲料事業者（コカ・コーラウエスト株式会社）と青色防犯パトロール実施団体との直接契約

(2) 行政の役割

制度紹介（事業者と青色防犯パトロール実施団体との橋渡し）

(3) 支援概要

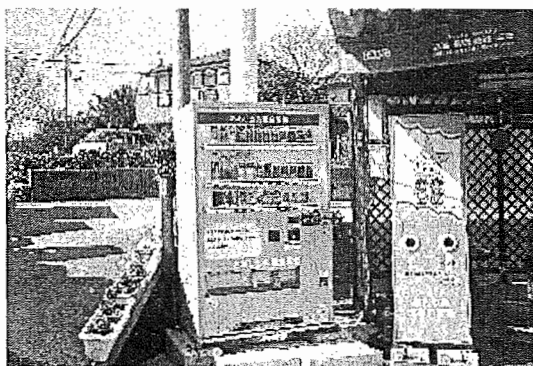
- 売上金の一部（20%程度）を団体へ寄付
- 「支援自動販売機」及び「団体名」を明示

3 設置状況

(1) 設置団体 4団体（7か所、7台）

	団体名	設置箇所	設置台数	設置場所	設置日
1	庄内学区安全・安心ネットワーク	1か所	1台	岡山市北区高松地内	3月17日
2	津高防犯パトロール隊	3か所	1台	岡山市北区吉宗地内	3月17日
			1台	岡山市北区津高地内	4月30日
			1台	岡山市北区横井上地内	4月30日
3	おおし会	2か所	1台	笠岡市東大戸地内	3月25日
			1台	笠岡市大井南地内	3月25日
4	円城駐在所管内パトロール隊	1か所	1台	加賀郡吉備中央町上田西道の駅「かもがわ円城」	3月28日

(2) 設置例



おおし会（笠岡市東大戸）



円城駐在所管内パトロール隊

4 その他

他の青色防犯パトロール実施団体への事業説明会を開催予定

第2 犯罪のない安全・安心まちづくり講師紹介事業

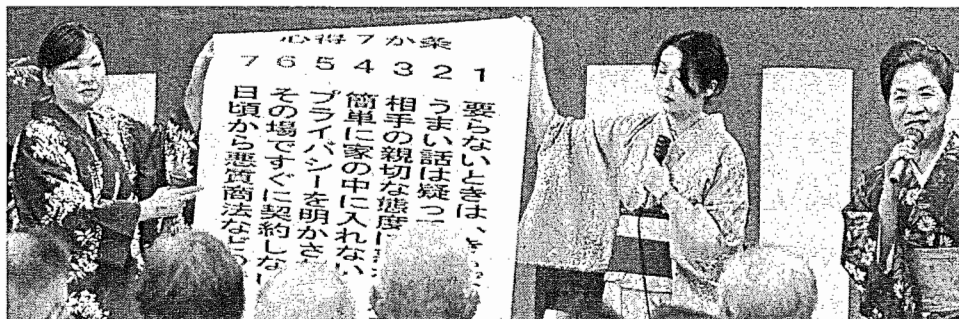
1 事業内容

- (1) 寸劇等により犯罪被害の防止を呼び掛ける団体や自主活動団体育成のノウハウを有する個人を講師に登録し、地域からの要望を踏まえ紹介する事業
- (2) 講師登録条件
県内に居住する18歳以上の個人又は団体で、犯罪のない安全・安心まちづくりに対する理解、見識を有している方
- (3) 紹介対象となる講習会等
自治会、町内会、老人会、婦人会、子供会等が主催する犯罪のない安全・安心まちづくり講習会等（参加者が概ね30人以上、開催時間が60分～90分程度）
- (4) 申込み要領
講習会等主催者が、県・安全安心まちづくり推進室に申し込む。

2 登録状況

2団体、6個人

登録区分	氏名	専門分野	団体名等	講習内容
1 団体	泉の会	振り込め詐欺 悪質商法被害防止	野崎 泉会長以下5人	寸劇、替え歌、 紙芝居
2 団体	ダマース社	振り込め詐欺 悪質商法被害防止	村下綾子会長以下4人	寸劇
3 個人	海野直恵	振り込め詐欺 子ども安全対策	岡山北警察署管内地域・交通安全サポーター	寸劇
4 個人	橋本正一	振り込め詐欺	法人職員(川崎学園)	講演
5 個人	吉田一宏	自主パト活動 振り込め詐欺	三黽学区さわやかパトロール隊代表	講演、寸劇
6 個人	秋山卓一	自主パト活動	庄内学区安全・安心ネットワーク代表	講演
7 個人	林 俊之	自主パト活動	藤田安全パトロール隊代表	講演
8 個人	岩中正則	自主パト活動	下津井パトロール隊代表	講演



泉の会（瀬戸内市）

3 その他

広報紙等により、広く県民に周知する。

平成20年度繰越明許費繰越額について

繰越明許費繰越額

【繰越額】

(単位:千円)

区 分		平成20年度		平成19年度		
		件 数	金 額	件 数	金 額	
一 般	公 共 事 業	一 般	28	6,811,945	35	8,126,777
		災害復旧			3	228,577
		計	28	6,811,945	38	8,355,354
会 計	単 県 事 業	補助事業	4	336,749	3	290,651
		一 般	34	13,766,153	27	4,958,586
		災害復旧			2	57,306
	計	34	13,766,153	29	5,015,892	
一般会計計		66	20,914,847	70	13,661,897	
特別会計		3	950,705	4	1,712,825	
合 計		69	21,865,552	74	15,374,722	

【繰越理由】

(単位:千円)

区 分	件 数	金 額
用地買収及び補償交渉の難航に伴うもの	5	725,487
地元関係者等との調整難航に伴うもの	39	10,615,830
国の補正(緊急経済・雇用対策)に伴うもの	9	4,261,357
国の補正(その他)に伴うもの	7	1,216,736
県の緊急経済・雇用対策に伴うもの	2	2,799,350
そ の 他	7	2,246,792
合 計	69	21,865,552

生活環境保健福祉委員会資料

1 平成21年6月定例会主要事項について

(1) 物品の取得について P. 1

(2) 平成20年度繰越明許費繰越計算書について P. 2

(3) 地方自治法第221条第3項の法人の経営状況を説明する
書類について

- ・ 財団法人岡山県福祉事業団 P. 3
- ・ 財団法人岡山県動物愛護財団 P. 9

2 新型インフルエンザ対策について P. 13

平成21年5月28日

保 健 福 祉 部

物品の取得について

物品を次のとおり取得するものとする。

- 1 取得する物品 抗インフルエンザウイルス薬 1,007,000カプセル
- 2 契約の相手方 東京都北区浮間五丁目5番1号
中外製薬株式会社
営業本部長 中村 直隆
- 3 取得予定価格 194,129,460円
- 4 契約締結の時期 平成21年度中
- 5 契約要領 岡山県財務規則（昭和61年岡山県規則第8号）に準拠

(参 考)

議会の議決を経なければならない契約及び財産の取得又は処分に関する条例抜粋

(議会の議決を経なければならない財産の取得又は処分)

第3条 法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を経なければならない財産の取得又は処分は、予定価格7千万円以上の不動産若しくは動産の買入れ若しくは売払い（土地については、1件2万平方メートル以上のものに係るものに限る。）又は不動産の信託の受益権の買入れ若しくは売払いとする。

平成20年度繰越明許費繰越計算書

(単位：千円)

款	項	事業名	金額	翌年度 繰越額	左の財源内訳			一般財源
					既収入 特定財源	未収入特定財源		
						国庫支出金	県債	
3 民生費	1 社会福祉費	緊急経済・雇用対策 事 業	6,684	6,684		6,684		
合 計			6,684	6,684		6,684		

平成20年度財団法人岡山県福祉事業団事業実績書

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
1 管理会計	財団法人岡山県福祉事業団が所管する各事業会計を統括調整した。 岡山県ゴルフ連盟からの寄附金（ゴルフ基金）、「山陽新聞ふれあい基金」の果実及び民間からの寄附金を社会福祉事業、社会福祉活動を実施している団体に助成配分した。 助成配分団体 52団体	16,623,327
2 会館会計	岡山県総合福祉会館の管理運営を行っており、新たな入居団体を確保するとともに大ホール・会議室等の貸出しを行った。 利用件数 大ホール 138件 その他会議室 1,223件	54,412,001
3 貸付事業部会計	岡山県福祉基金（桃太郎愛のともしび基金）から原資を借り入れ、金融機関の協調融資を得て民間社会福祉施設に対し、施設の新築、整備等に必要な資金を適正に融資した。 融資件数 2件	31,107,105
4 給食事業部会計	岡山県立おかやま福祉の郷、岡山県立岡山西養護学校の給食業務を行った。 提供延食数 238,526食	127,808,377
合 計		229,950,810

平成20年度財団法人岡山県福祉事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書

1 貸借対照表

平成21年3月31日現在 (単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
1 流 動 資 産		3 流 動 負 債	
現 金 預 金	819,714,289	短 期 借 入 金	2,000,000
短 期 貸 付 金	2,000,000	未 払 金	4,001,993
未 収 金	12,271,994	未 払 費 用	3,652,636
売 掛 金	63,945	買 掛 金	5,518,156
前 払 費 用	1,357,323	預 り 金	1,118,809
商 品	120,703	預 り 消 費 税	1,219,543
仮 払 消 費 税	145,315	前 受 金	970,875
流 動 資 産 合 計	835,673,569	仮 受 金	452,675
		流 動 負 債 合 計	18,934,687

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
2 固 定 資 産		4 固 定 負 債	
(1) 基 本 財 産		長 期 借 入 金	1,879,470,000
預 金	8,000,000	退 職 給 与 引 当 金	25,053,814
基本財産合計	8,000,000	配 分 引 当 金	44,530,106
(2) その他固定資産		福 祉 基 金 引 当 金	75,972,816
建 物	346,342,000	固 定 負 債 合 計	2,025,026,736
付 属 設 備	163,758,289	負 債 合 計	2,043,961,423
車 両 運 搬 具	2,800,000		
工 具 器 具 備 品	13,630,501	正 味 財 産 の 部	
減 価 償 却 累 計 額	△ 20,028,146	5 指 定 正 味 財 産	3,000,000
固定資産圧縮損累計額	△ 496,417,210	(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)
電 話 加 入 権	98,231	6 一 般 正 味 財 産	78,305,811
長 期 貸 付 金	1,020,710,000	(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)
有 価 証 券	250,700,000	正 味 財 産 合 計	81,305,811
その他固定資産合計	1,281,593,665		
固定資産合計	1,289,593,665	合 計	2,125,267,234
合 計	2,125,267,234		

2 正味財産増減計算書

自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
一般正味財産増減の部		指定正味財産増減の部	
1 経常増減の部		指定正味財産期首残高	3,000,000
(1) 経常収益		指定正味財産期末残高	3,000,000
イ 基本財産運用益			
基本財産受取利息	14,741		
ロ 事業収益			
飲食料	3,856,717		
使用料	19,837,600		
給食売上金	15,853,146		
商品売上金	1,342,398		
共益費	22,416,248		
手数料	1,282,239		
貸付金利息	30,124,245		
ハ 受取補助金等			
受託収益	111,547,347		
受取補助金	17,446,860		
ニ 雑収益			
受取利息	2,509,544		
雑収益	754,554		
経常収益計	226,985,639		

科 目	金 額	科 目	金 額
(2) 經 常 費 用			
イ 事 業 費			
飲 食 材 料 費	67,639,682		
商 品 仕 入 費	1,201,720		
基 本 給	30,250,800		
諸 手 当	17,892,853		
賃 金	25,756,667		
法 定 福 利 費	8,468,799		
厚 生 費	306,133		
被 服 費	183,041		
中 退 金 事 業 団 掛 金	792,000		
營 業 消 耗 品 費	3,780,870		
消 耗 備 品 費	1,772,034		
賃 借 料	3,245,609		
委 託 費	19,181,005		
洗 濯 費	3,496		
清 掃 費	849,000		
電 力 料	15,825,463		
水 道 料	1,677,307		
燃 料 費	1,276,798		
修 繕 費	2,249,674		
自 動 車 費	599,939		
環 境 整 備 費	112,952		
損 害 保 險 料	397,735		
衛 生 費	371,846		
配 分 金	9,280,000		
借 入 金 利 息	8,666,305		
□ 管 理 費			
役 員 報 酬	600,000		
旅 費 交 通 費	277,199		
通 信 費	843,048		
事 務 用 品 費	1,020,050		
支 払 手 数 料	243,991		
会 議 費	102,600		
函 書 費	433,968		
負 担 金	26,100		
交 際 費	66,900		
放 送 受 信 料	14,200		
租 稅 公 課	3,649,637		
雜 費	67,200		
減 価 償 却 費	824,189		
經常費用計	229,950,810		
当期經常増減額	△ 2,965,171		

科 目	金 額	科 目	金 額
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
イ 引当金取崩額			
貸倒引当金取崩額	3,776,610		
配分引当金取崩額	8,130,000		
経常外収益計	11,906,610		
(2) 経常外費用			
イ 引当金繰入額			
退職給与引当金繰入額	1,553,602		
配分引当金繰入額	348,579		
固定資産圧縮損繰入額	4,830,000		
福祉基金引当金繰入額	2,203,391		
経常外費用計	8,935,572		
当期経常外増減額	2,971,038		
当期一般正味財産増減額	5,867		
一般正味財産期首残高	78,299,944		
一般正味財産期末残高	78,305,811		
		正味財産期末残高	81,305,811

平成21年度財団法人岡山県福祉事業団事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
1 管理会計	財団法人岡山県福祉事業団が所管する各事業会計を統括調整する。社会福祉事業に対する寄附金の受入れと「山陽新聞ふれあい基金」の運用益を収入する。 上記寄附金と運用益を社会福祉事業、社会福祉活動を実施している団体に適切に配分する。	16,342
2 会館会計	岡山県総合福祉会館を、福祉・教育・文化等幅広い観点から有効活用を図るとともに、大ホール・会議室の利用促進に努める。	59,437
3 貸付事業部会計	岡山県福祉基金（桃太郎愛のともしび基金）から原資を借り入れ、金融機関の協調融資を受け、これを貸付資金として民間社会福祉施設の施設整備等のため、低利で融資する。	30,937
4 給食事業部会計	平田旭川荘及び岡山県立岡山西養護学校の給食業務の運営に際し、常に食品衛生、防疫に細心の注意を払い、良質かつし好に合わせた食事の提供に努める。	128,339
合 計		235,055

平成21年度財団法人岡山県福祉事業団収支予算書

(単位：千円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額			科 目	予 算 額		
	21年度	20年度	増△減		21年度	20年度	増△減
事業活動支出	235,055	228,181	6,874	事業活動収入	219,785	230,133	△ 10,348
事業費支出	227,658	221,201	6,457	基本財産運用収入	28	24	4
管理費支出	7,397	6,980	417	事業収入	93,697	99,292	△ 5,595
投資活動支出	0	6,900	△ 6,900	補助金等収入	123,188	128,994	△ 5,806
固定資産取得支出	0	6,900	△ 6,900	寄付金収入	50	50	0
財務活動支出	850,250	864,690	△ 14,440	雑収入	2,822	1,773	1,049
借入金返済支出	250,250	264,690	△ 14,440	財務活動収入	1,080,490	1,053,160	27,330
貸付金支出	600,000	600,000	0	借入金収入	832,000	792,000	40,000
次期繰越収支差額	2,914,563	2,699,593	214,970	貸付金返済収入	248,490	261,160	△ 12,670
				前期繰越収支差額	2,699,593	2,516,071	183,522
合 計	3,999,868	3,799,364	200,504	合 計	3,999,868	3,799,364	200,504

経営状況等の概況（県外郭団体）

団体の基本情報（H21.4.1現在）					
名称	財団法人岡山県福祉事業団		事務所の所在地	岡山市北区石関町2-1	
代表者	理事長 定金 聡		設立年月日	昭和37年5月14日	
基本財産	8,000千円	うち県出資金	3,000千円	県出資比率	37.5%
役員	12人	職員	27人	決算時期	3月
設立目的	県と一体となって、県民の福祉のために必要な事業を行うことを目的として設立された。				
主な事業	1 心身障害児（者）援護基金「ゴルフ基金」及び「山陽新聞ふれあい基金」の助成金配分 2 岡山県総合福祉会館の管理運営 3 岡山県福祉基金の管理、貸付 4 平田旭川荘及び岡山県立岡山西養護学校の給食業務受託				

経営実績と財産の状況（単位：千円）							
	H16	H17	H18	H19	H20	H21（予算）	
当期収入 A	609,475	400,092	384,206	346,887	513,146	1,300,275	
うち県支出金 B	79,113	73,310	41,708	27,905	27,112	21,319	
県支出金の割合（B/A）	13.0%	18.3%	10.9%	8.0%	5.3%	1.6%	
当期支出 C	775,228	469,828	456,266	460,723	683,691	1,085,305	
当期収支差額（A-C）	-165,753	-69,736	-72,060	-113,836	-170,545	214,970	
総資産 D	3,146,578	3,018,134	2,769,862	2,532,881	2,125,267		
主なもの	現金預金	1,248,338	1,219,061	1,115,682	1,001,590		827,714
	投資有価証券	274,695	274,695	250,695	246,700		250,700
総負債 E	3,065,212	2,938,806	2,689,907	2,451,581	2,043,961		
正味財産 F=D-E	81,366	79,328	79,955	81,300	81,306		
うち基本金 G	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000		
内部留保（F-G）	73,366	71,328	71,955	73,300	73,306		
経営実績と財産の状況についての評価	各種事務事業の委託等を受け、安定した経営が行われている。						

役員職員の状況							
		H16	H17	H18	H19	H20	H21
役員	総数	11	11	11	12	12	12
	常勤		1	1	1	1	1
		うち県派遣職員					
	非常勤		10	10	10	11	11
うち県職員		1	1	1	1	1	
職員	総数	41	38	28	28	27	27
	常勤		17	15	9	9	8
		うち県派遣職員					
	非常勤	24	23	19	19	19	

岡山県からの支出の状況（単位：千円）						
	H16	H17	H18	H19	H20	H21（予算）
県支出金（再掲）	79,113	73,310	41,708	27,905	27,112	21,319
内訳	委託料	53,760	53,425	16,803	9,832	9,665
	補助金	25,353	19,885	24,905	18,073	17,447
	短期貸付金					
その他	長期貸付金（年度末残高）	1,245,700	1,179,700	1,099,700	1,012,700	852,700
	損失補償限度額	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
	損失補償契約に係る債務残高	1,618,130	1,518,570	1,398,440	1,268,460	1,028,770
	債務保証限度額					
	債務保証契約に係る債務残高					

平成20年度財団法人岡山県動物愛護財団事業実績書

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	<p>1 講習会活動事業</p> <p>(1) 犬のしつけ方教室 正しい犬のしつけや日常管理の基礎的な知識を習得してもらい、飼い主のモラルの向上を図った。</p> <p>(2) 犬の飼い方講習会 講習や実演等により、地域の人達に親しまれる犬の飼い方の普及を図り、動物愛護と適正な飼養の普及啓発を行った。</p> <p>2 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集と会報「しっぽ通信」の発行を行った。</p> <p>3 広報活動</p> <p>(1) ポスターの掲示 動物愛護精神の高揚を図るため、保健所・市町村・動物病院等にポスターの掲示を依頼し、普及啓発を行った。</p> <p>(2) 啓発資料の作成 リーフレット、テキストブック、子ども用啓発資材、啓発パネル等を作成し、犬のしつけ方教室、動物愛護週間行事など各種啓発事業に活用した。</p> <p>(3) ホームページの拡充 従来の内容を充実させ、各種イベントの案内、犬・ねこの譲渡や仲介に関する情報等を発信した。</p> <p>(4) 広報誌の発行 動物愛護や各種イベントに関する情報を掲載した「動物愛護センターだより」を発行した。</p> <p>4 動物愛護推進事業</p> <p>(1) 動物とのふれあい教室 動物愛護センターに来場する家族連れ等を対象に、また、幼稚園等に出向き、犬等とのふれあいを通じて動物愛護精神の普及を図った。</p> <p>(2) 犬・ねこの譲渡会 収容された犬・ねこにできる限り生存の機会を与えるため、事前に講習会を受講した希望者に譲渡した。</p> <p>(3) 動物愛護週間関連行事 動物愛護週間を中心に、動物愛護センター、岡山、赤磐、高梁、倉敷、津山、笠岡の各会場で、特色あるイベントを開催した。</p> <p>(4) 北広場（ドッグラン）の運営 犬を放して遊ばせるドッグランの利用促進に努めた。</p> <p>(5) 映画会等の開催 親子を対象とした動物に関する映画会やペーパークラフト教室を開催した。</p> <p>(6) 動物ふれあい活動 獣医師会と協同して、病院、障害者施設でアニマルセラピー活動を行った。</p>	6,970,035
2 相談事業	<p>1 電話による「動物なんでも相談」を行った。</p> <p>2 犬・ねこの新しい飼い主探し情報バンク 犬・ねこの飼い主探しの希望情報の仲介を行い、個別に避妊・去勢手術を奨励し、動物愛護思想の普及啓発を行った。</p>	137,321
3 調査研究事業	<p>各種ビデオ・DVD及び図書等教材の整備を行い、ふれあい動物友の会会員に貸し出した。</p>	149,687
4 財団法人の管理運営	<p>財団の組織充実と体制整備のための事業並びに管理運営を行った。</p>	12,786,180
合	計	20,043,223

平成20年度財団法人岡山県動物愛護財団貸借対照表及び収支計算書

1 貸借対照表

平成21年3月31日現在 (単位:円)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	2,048,022	流動負債	646,102
普通預金	1,626,976	未払金	646,102
未収金	421,046	正味財産	104,817,399
固定資産	103,415,479	基本金	100,000,000
基本財産	100,000,000	当期正味財産増加額	157,153
定期預金	100,000,000	繰越財産累計額	4,660,246
その他の固定資産	3,415,479		
備 品	3,385,479		
電話加入権	30,000		
合 計	105,463,501	合 計	105,463,501

2 収支計算書

自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日 (単位:円)

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業費	7,257,043	基本財産運用収入	400,328
啓発事業費	6,970,035	会費収入	930,000
相談事業費	137,321	受託事業収入	18,403,000
調査研究事業費	149,687	寄附金収入	79,271
管理費	12,786,180	雑収入	274,377
事務費	12,744,850	前期繰越収支差額	1,358,167
会議費	41,330		
次期繰越収支差額	1,401,920		
合 計	21,445,143	合 計	21,445,143

平成21年度財団法人岡山県動物愛護財団事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	1 講習会活動事業 (1) 犬のしつけ方教室を開催する。 (2) 犬・ねこの飼い方講習会を開催する。 2 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集を行う。 3 広報活動 (1) 犬・ねこの正しい飼養管理等の啓発資料を作成し、動物愛護の普及啓発を行う。 (2) ホームページを使って、各種情報の提供を行う。 (3) 定期広報誌を発行する。 4 動物愛護推進事業 (1) 動物ふれあい教室を開催する。 (2) 犬・ねこの譲渡会を開催する。 (3) 動物愛護週間行事を開催する。 (4) ドッグランの利用を促進する。 (5) 映画会・折り紙教室等を開催する。	8,100
2 相談事業	1 「動物なんでも相談」事業を実施する。 2 犬・ねこの新しい飼い主捜しの仲介を行う。	170
3 調査研究事業	1 教材等の提供 各種ビデオ・図書等の整備を図り、教材提供や教育に役立てる。 2 情報収集や他団体との交流を通じ、必要な調査研究を行う。	150
4 収益事業	愛護館利用者を対象に動物用グッズの販売を行う。	130
5 共通経費	上記1～4の事業に係る共通経費。	10,237
6 財団法人の管理運営	財団の組織充実と体制整備のための事業及び管理運営を行う。	11,211
合 計		19,761

平成21年度財団法人岡山県動物愛護財団収支予算書

(単位：千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算額			科目	予算額		
	21年度	20年度	増△減		21年度	20年度	増△減
事業費	18,787	8,189	10,598	基本財産運用収入	400	400	
啓発事業費	8,100	7,869	231	会費収入	1,200	1,200	
相談事業費	170	170		受託事業収入	16,562	18,403	△1,841
調査研究事業費	150	150		寄附金収入	90	90	
収益事業	130	0	130	雑収入	58	208	△150
共通経費	10,237	0	10,237	収益事業収入	150	0	150
管理費	974	13,370	△12,396	前期繰越収支差額	1,401	1,358	43
事務費	874	13,270	△12,396				
会議費	100	100					
予備費	100	100					
合 計	19,861	21,659	△1,798	合 計	19,861	21,659	△1,798

経営状況等の概況（県外郭団体）

団体の基本情報 (H21.4.1現在)					
名称	財団法人岡山県動物愛護財団		事務所の所在地	岡山市北区御津伊田2750番地	
代表者	理事長 唐木 茂樹		設立年月日	平成8年5月30日	
基本財産	100,000千円	うち県出資金	55,000千円	県出資比率	55.0%
役員	7人	職員	4人	決算時期	3月
設立目的	動物を愛護する精神を広く社会に普及し、生命尊重の意識の高揚を図るとともに、動物の適正な飼育の指導を通じて動物による危害の発生を防止することにより、人と動物が共存できる豊かな地域社会づくりに寄与する。				
主な事業	1 動物の愛護に関する普及啓発事業 2 動物の適正な飼養に関する指導及び相談事業 3 動物の保護及び管理に関する必要な教育、調査及び研究事業 4 動物の愛護に係る業務の受託事業 5 その他前条の目的を達成するために必要な事業				

経営実績と財産の状況 (単位：千円)							
	H16	H17	H18	H19	H20	H21(予算)	
当期収入 A	13,596	19,700	20,168	20,220	20,087	18,460	
うち県支出金 B	12,468	18,982	18,976	18,407	18,403	16,562	
県支出金の割合 (B/A)	91.7%	96.4%	94.1%	91.0%	91.6%	89.7%	
当期支出 C	13,106	19,838	20,103	19,842	20,043	19,861	
当期収支差額 (A-C)	491	-138	65	378	44	-1,401	
総資産 D	104,588	104,255	104,409	105,306	105,464		
主なもの	現金預金	101,011	101,039	101,036	101,579		101,627
	投資有価証券						
総負債 E	96	141	127	645	646		
正味財産 F=D-E	104,492	104,114	104,282	104,661	104,818		
うち基本金 G	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000		
内部留保 (F-G)	4,492	4,114	4,282	4,661	4,818		
経営実績と財産の状況についての評価	収支がほぼ均衡しており、安定した経営が行われている。						

役員職員の状況								
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	
役員	総数	8	7	7	7	7	7	
	常勤							
		うち県派遣職員						
	非常勤		8	7	7	7	7	7
うち県職員		1	1	1	1	1	1	
職員	総数	3	4	4	4	4	4	
	常勤		2	4	4	4	4	3
		うち県派遣職員						
	非常勤	1					1	

岡山県からの支出の状況 (単位：千円)							
	H16	H17	H18	H19	H20	H21(予算)	
県支出金(再掲)	12,468	18,982	18,976	18,407	18,403	16,562	
内訳	委託料	2,641	18,982	18,976	18,407	18,403	16,562
	補助金	9,827					
	短期貸付金						
その他	長期貸付金(年度未残高)						
	損失補償限度額						
	損失補償契約に係る債務残高						
	債務保証限度額						
	債務保証契約に係る債務残高						

新型インフルエンザ対策について

国内で感染者が初めて確認されてから10日あまり経過した。この間、兵庫県、大阪府では、高校生を中心に若い人への感染が多数報告され、全国に広がっている。

隣県での発生であり、県では、監視体制を強化してサンプル検査を行っているが、現時点では県内では確認されていない。今後、県内で感染者が確認された場合には、県では、感染が拡大し県民への健康被害が生じないように、関係機関と連携を密にして万全の体制を整えている。

1 国内の患者発生状況（新聞情報等、5月27日6時現在）

・患者数：1都2府6県、354人

内訳：兵庫180、大阪153、東京3、滋賀・京都・埼玉・神奈川2、福岡・静岡1、検疫8

2 発熱相談センターでの相談状況（国内発生以降）

月日	5/16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	計
件数	93	301	958	1,085	863	916	867	502	443	631	482	7,141

3 発熱外来医療機関の確保

発熱外来医療機関を16病院確保しており、このうち10病院については公表し、患者の方が迅速に受診できる体制を構築した。

今後より多くの医療機関で対応可能となるよう、働きかけてまいりたい。

4 抗インフルエンザウィルス薬の備蓄状況

タミフル等は、既に16万2千人分を備蓄済みで、更に、国の3年計画の方針を1年短縮し、今後2年間で約22万人分を追加備蓄する計画である。本年度分の約11万人分は、納入時期の前倒しをメーカー側と調整し、タミフルは9月末までに、リレンザは年内に取得できることとなった。

5 今後の対応について

新型インフルエンザが県内で発生した場合は、県新型インフルエンザ対策本部を開催し、感染拡大等の状況を踏まえて決定した方針に基づき、学校、社会福祉施設等の臨時休業等の具体的な要請を行うこととしている。

また、今般の事態を踏まえ、保健所等が行う患者発生時の疫学調査等に使用する個人防護具や来年度備蓄予定の抗インフルエンザウィルス薬約11万人分についても、追加備蓄のための購入等について検討している。

医療の確保、検疫、学校・保育施設等の臨時休業の要請等に関する運用指針

	①発生患者と濃厚接触者への対応	②医療・発熱外来	③学校・保育施設等	④確定診断 (PCR検査)	⑤検疫
(1) 感染の初期、患者発生が少数であり、感染拡大防止に努めるべき地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ 患者（患者と疑われる者を含む。）については、感染症指定医療機関等への入院とし、抗インフルエンザ薬を用いて適切に治療し、新たな感染を防ぎ、感染源を減らすよう努める。 ○ 濃厚接触者に対し外出自粛等の要請をする。 ○ 濃厚接触者に対し予防投与と健康観察を行う。 ○ 医療従事者や初動対処要員等がウイルスに暴露し、感染した可能性が高い場合には、抗インフルエンザウイルス薬の予防投与を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ インフルエンザ様症状が見られた場合には、まずは、発熱相談センターに電話で相談し、その後、指示された発熱外来を受診する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要に応じて、市区町村の一部又は全部、場合によっては都道府県の全部での臨時休業を要請する。 ※ 休業の要請については、一週間ごとに検討する。 ○ 解除後に患者が発生した学校・保育施設等については、個別に臨時休業を要請する。 ○ 大学に対しては、休業も含め、できる限り感染が拡大しないための運営方法を工夫するよう要請する。 	<p style="text-align: center;">【患者が発生していない地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級閉鎖などインフルエンザ様症状を有する者の増加等が見られる場合、新型インフルエンザかどうかを判別するために、新型インフルエンザウイルスの確定診断のための検査（PCR検査）を積極的に活用する。 <p style="text-align: center;">【一定以上の患者が発生している場合】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康状態質問票に基づく確実な健康状態の把握に力点を置いた検疫を行う。（ブース検疫） ※ ただし、検疫前の通報において、明らかに有症者がいる場合は、状況に応じ、機内検疫を行う。 ○ 検疫において患者を確認した場合は、当該患者については引き続き隔離措置とする。
(2) 急速な患者数の増加が見られ、重症化の防止に重点を置くべき地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎疾患を有する者等は初期症状が軽微であっても優先して入院治療を行う。 ○ 基礎疾患を有する者等であるかどうか明確でない人でも重症化の兆候が見られたら、速やかに入院治療を行う。 ※ 最大の目標は、基礎疾患を有する者等の重篤化を最小限に抑えることである。 ○ 軽症者は、自宅で服薬、療養し、健康観察を実施する。 ○ 濃厚接触者に対し外出自粛等の要請をする。 ○ 自宅療養する軽症者の家族の中で基礎疾患を有する者等や、基礎疾患を有する等の医療従事者及び初動対処要員等がウイルスに暴露している場合は、予防投与を行う。 ※ その他は、予防投与は行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係者の協力の下、対応可能な一般の医療機関においても、発熱外来の機能を果たすとともに、患者の直接受診を行うことを可能とする。 ○ 外来については、一般の患者と新型インフルエンザ患者が動線にて交わらないよう、入口等を分ける、あるいは診療時間帯を分けるなど最大の注意を払う。 ※ 特に基礎疾患を有する者等への感染防止に努める。 ○ 入院については一般病院においても重症者のための病床を確保する。 ※ 特に基礎疾患を有する者等への感染防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・保育施設等で患者が多く発生した場合、当該学校・保育施設等の生徒等を感染から守るために、当該学校・保育施設等について臨時休業とする。 ○ 大学に対しては、休業も含め、できる限り感染のスピードを遅らせるための運営方法を工夫するよう要請する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな地域での患者発生を把握する観点から、検査に優先順位をつけて運用する。（患者が発生していない地域からの検体を優先して検査を実施するなど） ○ 今後は、PCR検査は、新型インフルエンザ発生国あるいは発生地域において患者との接触が強く疑われ、かつ、発熱等の症状がある者に対し、優先的に行う。なお、季節性インフルエンザのサーベイランスを強化し、新型インフルエンザの発生動向を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 濃厚接触者に対しては、停留を行わず外出自粛を要請するなど、より慎重な健康監視とし、居住地等の都道府県等に対して速やかに連絡をとる。 ・ その他の同乗者については、健康監視の対象とはせず、健康状態に異常がある場合には、発熱相談センターへの連絡を徹底する。

※ 重症者には、基礎疾患のため、重症化しやすい者を含む